

# 令和3年度 第75回関東高等学校女子バスケットボール大会

令和3年6月13日(日) Aブロック 2回戦 ALSOKぐんまアリーナ Dコート 第2試合

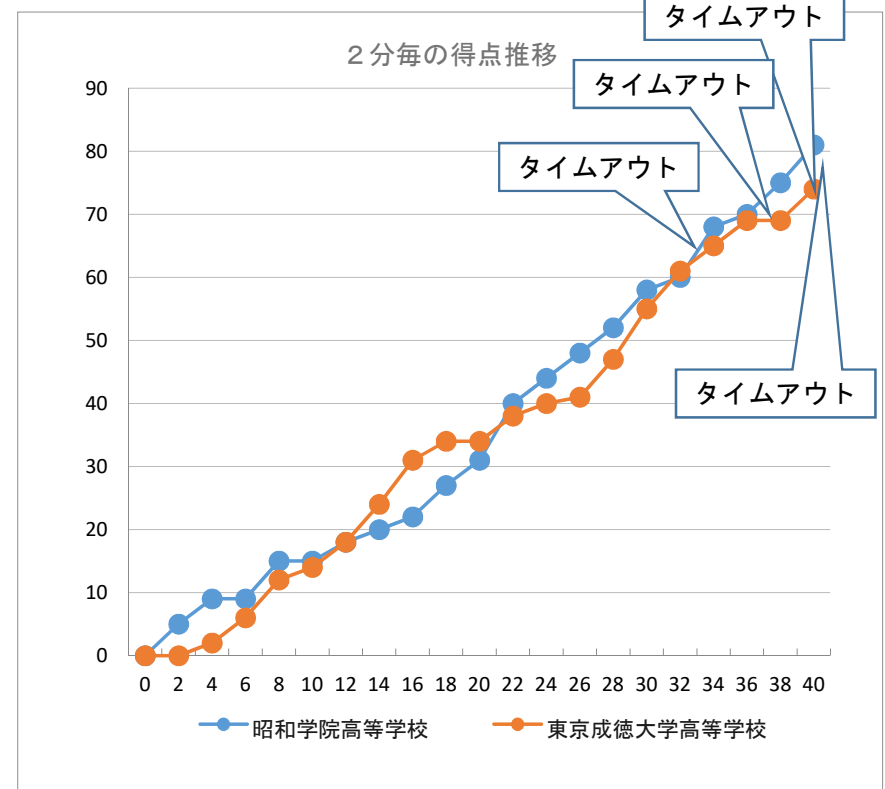
チームA	81	15 1st 14	74	チームB
昭和学院高等学校 (千葉県)		16 2nd 20		東京成徳大学高等学校 (東京都)
		27 3rd 21		
		23 4th 19		
		OT		

## Aチーム： 昭和学院高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		4	西 フアツマ 七南	9	1	1	2	2	2	2	1	3	2	5
2	*	5	石橋 花穂	15	3	3	3	3	0	0	0	1	2	3
3		6	エスコ 梨々杏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	*	7	田平 真弥	13	1	1	4	4	2	4	4	3	6	9
5	*	8	花島 百香	14	0	0	4	4	6	5	3	3	8	11
6	*	9	田嶋 優希奈	26	1	1	8	8	7	5	3	1	1	2
7		10	桃井 瑠奈											
8		11	小島 夢生											
9	*	12	アチャラ オグチ クランシー	4	0	0	2	2	0	0	4	0	5	5
10		13	清水 さくら											
11		14	小松崎 萌愛											
12		15	殖粟 佳穂											
13		16	山本 羽南											
14		17	米須 莉奈											
15		18	春川 麗											
HC/TEAM			鈴木 親光											
			合計	81	6	6	23	23	17	16	15	11	24	35

## Bチーム： 東京成徳大学高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	佐坂 光咲	13	0	0	5	5	3	3	5	1	1	2
2	*	5	古谷 早紀	27	1	1	11	11	2	2	3	3	9	12
3		6	高山 茉夕	2	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0
4	*	7	原 美月	7	1	0	1	1	2	2	3	5	2	7
5	*	8	山宮 好葉	10	0	0	4	4	2	2	5	0	4	4
6		9	尾崎 理咲											
7		10	高實子 わこ	13	0	0	6	6	1	1	1	2	4	6
8	*	11	天野 希咲	2	0	0	1	1	0	0	3	0	1	1
9		12	山内 彩加											
10		13	古澤 英琉											
11		14	菊地 彩里											
12		15	野崎 楓											
13		16	奥山 奈津											
14		17	鈴木 若菜											
15		18	高松 花葉											
HC/TEAM			小林 康裕											
			合計	74	2	1	28	28	12	12	21	11	21	32



## 戦評

記事者：石井 貴子(群馬県高体連)

1Q：両チームマンツーマンディフェンスでスタート。昭和は高さのある#12をハイポストに置き、起点としてシュートチャンスを作ってリードする。シュートに固さの見られた成徳だったが、ディフェンスで流れを掴み、#5のリング下、#8のドライブで得点し、ピックプレイが決まると流れが変わり1点差に追いつき、15-14で終了。

2Q：オールコートでディフェンスを続ける成徳に、1対1でしかチャンスの作れない昭和は#7の3Pで得点するが、流れに乗り切れず連続得点にはならない。スティールから得点する成徳も、ハーフコートオフェンスではチャンスを作れず苦しいシュートが続く。ディフェンスで粘る成徳が速攻で攻め、31-33、成徳3点リードで後半へ。

3Q：昭和は#12をローポストに置き、成徳のカバーの遅れをつきドライブから得点。ピックプレイで得点する成徳に対し、ダブルチームで攻撃の起点を潰す。#5の3Pも決まり逆転からリードへ。それでもオールコートでプレッシャーをかけた成徳は、#4のドライブで得点し3点差まで詰めて最終Qへ。

4Q：昭和#5、#9が積極的に攻めて得点。一方、成徳は#8がドリブルから速攻で得点。成徳はセットプレイを仕掛けるが崩せず、1点差のゲーム展開が続く。残り3分、速いバス回しから昭和が得点すると、ここで成徳はタイムアウト。タイムアウト後、昭和はオールコートプレスを仕掛けるが、成徳はバスで運びシュートチャンスを作るものの、シュートは外れ逆に昭和にリードされたままボールを回され試合終了。終始ディフェンスを徹底し食らいついた成徳だったが、勝負所でシュートを決め、時間をコントロールした昭和が81-74で勝利し、準決勝に駒を進めた。

主審	第1副審	第2副審
渡邊 整(指名)	内野 翔太(群馬県)	藤林 比登美(埼玉県)